採水の手引き

1．試料の採水方法

1） 給水栓

①鉛：5L/分で 5 分間流水後、15 分間滞留、その後 5L/分で 5L 採取し、均一撹拌したものを試料とする。

②その他の項目：①がある場合には、引き続き試料を採取する。①がない場合には、①と同様に5分間流水後、採水を行う。

2） 給水栓以外

採水栓が設置されていない原水の採水においては、ステンレス製等の採水器具（2L 以上）と、投げ込み用のロープ（10m程度）を用意し採水する。なお、検査用試料は、採水器具を充分に原水で共洗い後のものを使用する。

2．現場における水質検査

現場における水質検査が指定されている項目については、5L/分で 5 分間流水直後に実施する。残留塩素が検出されない場合は引き続き 5 分間流出させ実施する。

3．採水瓶

水質検査項目により下表の採水瓶を用意する。

水質検査項目		採水瓶の種類及び採水容量	備考
1	鉛用	100ml ポリエチレン瓶	5L用採水器具使用
2	一般細菌・大腸菌用	250ml 滅菌瓶	浄水においては、ハイポ入り使用 冷蔵保存で運搬
3	一般化学・臭素酸用	1L ポリエチレン瓶	
4	揮発性有機化合物用	100ml 赤口ガラス瓶（満水）	採水時、アスコルビン酸・塩酸(1+10)添加 冷蔵保存で運搬
5	シアン用	100ml ポリエチレン瓶	採水時、りん酸緩衝液添加 冷蔵保存で運搬
6	ホルムアルデヒド用	100ml 黒口ガラス瓶（満水）	*採水時、チオ硫酸ナトリウム溶液添加 冷蔵保存で運搬
7	水銀用	100ml ポリエチレン瓶	
8	塩素酸用	100ml ポリエチレン瓶	冷蔵保存で運搬
9	フェノール類用	1L ガラス瓶（満水）	*採水時、アスコルビン酸添加 冷蔵保存で運搬
10	ハロ酢酸用	250ml 赤口ガラス瓶（満水）	
11	2-MIB・ジェオスミン用	1L ガラス瓶（満水）	
12	非イオン界面活性剤	2L ガラス瓶（満水）	*採水時、亜硫酸水素ナトリウム溶液添加
13	陰イオン界面活性剤	1L ポリエチレン瓶	
14	TOC、臭気・味用	250ml 青口ガラス瓶（満水）	
15	予備用	1L ガラス瓶	

＊印の項は、原水の場合は不必要